



# 与野西北小だより

8・9月号

令和7年8月27日

**【学校教育目標】**

◇みんなと協力する子（徳育） ◇自分の力で考える子（知育）  
◇心身ともに健康な子（体育） ◇人との関わりを大切にする子（響育）

**【学校経営方針】**

みんなでつくる みんなの与野西北小学校

**【児童会スローガン】**

せ・い・ほ・く だ・い・す・き

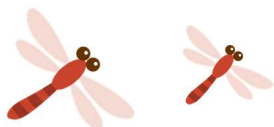
【西北小学校50周年キャラクター】  
西北五十丸



与野西北小学校

TEL853-0109

ホームページアドレス <http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/>



## 2学期スタート

校 長 緒 方 健 二

2学期が始まりました。天気予報によると、まだまだ暑い日が続きそうです。まずは、早寝早起きと朝ごはんで生活リズムを整えていただき、体調管理、熱中症予防にも気を付けて、新学期を過ごせるようお願いいたします。

夏休みはいかがだったでしょうか。今年の夏も猛暑のため、屋外での活動は危険な状況が続き、もはや災害級の対応が必要との報道もありました。ただ、この暑さは近年続いており、今年の猛暑も想定はされていたので、この状況が「令和の夏」の当たり前と言えるのではないかと思います。この猛暑のために、私たちの生活は大きな変化を余儀なくされています。そして、私たちの考え方も変化せざる負えない状況になっていることを思い知らされる夏でした。私も、この夏から日傘を使用するようになりました。

さて、「将来、予測困難な社会を生きる子どもたちには・・・」という、フレーズをよく見聞きします。急激な社会の変化に加え、この気候の変化等を考えると、我々は、すでに予測困難な社会の中で生活していることを実感します。そして、「今までの生活や考え方」を、柔軟に変化・進化させる必要性を痛感させられます。「今までの生活や考え方」は、我々の祖先、先輩方が、長い時間をかけ、その時代の状況に応じて常にアップデートしてきたものです。この予測困難な時代を生きる私たちには、常にアップデートをする意識が必要であると思います。

前置きが長くなりました。私は子どもに「自分で考えて、自分で判断し、自分から行動できる力が大切」という話をしています。本日の始業式でもお話をしました。時代や社会が変化すると、いわゆる「正解・当たり前」とされていたことが変化していきます。だからこそ、正解や当たり前にこだわるよりも、どのように考えるのか、たくさんアイディアを出せるか、その上で、どう判断するかということ、そして何よりも、そのことを行動化できるかという力が重要になってきます。学校の様子を見てみると、子どもたちは、「考える力」「判断する力」「行動する力」を十分にもっています。発達段階や個別的な違いはありますし、結果も十分とは言えないかもしれませんが、それでも、子どもたちは、それらの経験を積み重ね、着実に成長しています。

2学期は、様々な行事や教育活動が行われます。子どもたちが、安心して、3つの力を存分に発揮する機会を確保し、豊かな成長につながるように全力で応援していきたいと考えております。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対しまして、引き続きご理解とご支援をいただければ幸いです。2学期もよろしくお願いいたします。